



# かじか NEWS

2022 年度 2 月  
教育支援センター  
「かじか」  
第 10 号  
☎ 22-0586

## ◇「かじか」の2022を振り返って(〜♪)◇

5つの機能の視点を  
常に振り返りながら

2022年度も市教委の方針「教育支援センターの機能  
拡大に向けて ～居場所のない子ゼロ～」のもと、次の5つ  
の視点で取り組んできました。

- ①「教育支援センター」としての機能の充実
- ②「相談支援センター」としての機能の充実
- ③「学習支援センター」としての機能の充実
- ④「不登校対策センター」としての機能の充実
- ⑤「教職員研修センター」としての機能の充実

機能の充実に向け、大切にしようと心がけてきたのは、  
大きく次の3つです。

- おうちの方とかかわる時に
  - ・「今がある幸せ」をお伝えする事
  - ・「『失敗』は悪くない」とお伝えする事
- 子どもさんとかかわる時に
  - ・「その子ののびたい方向」を大切にすること
- 学校とかかわる時に
  - ・「かじかは学校と家庭の間にある」を大切にすること



不十分な点多々ありますが、機能②「相談支援センター」の内容の一つとして、  
毎月第3金曜日 19時からの「かじか例会」を、次のようなコンセプトでおうちの方々  
のご参加をいただいて一年間継続できたことは大きな出来事でした(〜)/

- 「少人数のフリースペース形式」で、「話の流れに沿わなくても、どんなお話をしても大丈夫」  
「出されたお話をまとめない」などとして、かじか支援員が会を進めることで、少しでも参加  
にご不安のないように心がけます。
- 「こうすればいいかも」という気づき合いがあればとは思いますが、それ以上に、「とにかく  
一緒に明るく悩む会」「参加してよかったと帰りに笑顔になれる会」を心がけます。



- ◇「ゲームで友だちとつながるようになってのわが子の変化」「高校進学に向けて学校やわ  
が子と話している事」「父親・祖父母・兄弟との関係の変化」等々、司会が必要ないほど、  
おうちの方同士でのお話が進むことが多くなりました(毎回3名～6名のご参加)。
- ◇この「かじか例会」にご参加のお母さん方の発案で、「お母さん方、お母さん方による、  
お母さん方のためのサークル『ひだまり』」が生まれ、定期自主開催をめざしています。例  
会で話し足りないことを話したりもっと雑談に花を咲かせたり。「かじか」として全力でバック  
アップしていきたいです。※「ひだまり」についてのお問い合わせは「かじか」まで(〜)/